

日本語学習者の外来語習得 ー 地域別に見られる習得の傾向 ー

上野山 愛 弥

1. はじめに

語彙の習得は第二言語の学習において重要であるが、日本語を学ぶ日本語非母語話者の多くにとって外来語の学習は苦手とする項目であると思われる。また、外来語は日常生活の中で確実に増え続けていることから、語彙教育上の重要項目になると考えられる。

よって、本研究では外来語の習得に関する調査を行い、分析することにした。その結果、教科書の中にあるにもかかわらず習得されにくい語彙があるなら、それは語彙自体が持つ要素のほかにも、使用されにくかったりすることなどが原因かもしれない。また、教室の外で習得された語彙については、学習者が必要としているものであったり、興味を持ったりするものに関するものが多いと思われる。

調査は、英語圏、中国、台湾、韓国と日本国内の大学の日本語学習者を対象とした。海外で学ぶ学習者と日本国内で学ぶ学習者とでは環境による違いが見られるかもしれない。また、海外の学習者においては、住んでいる地域における日本語の情報量などが習得に影響を与えている可能性も考えられる。

以上のようなことから、本稿では調査を行った各地域における日本語学習者の外来語習得の傾向について見ていく。

2. 先行研究

三好（2005）は、授業で行ったゲームの中で学習者が自らも何度か発した経験のある語でも意味を思い出すことができなかったことについて、「ゲームではその語を発してはいるが、学習者が自らのメッセージを伝えるために語彙の記憶（mental lexicon）から検索し、使用したのではなかったため、深い処理にはなっていなかったのではないと思われる。」と述べている。一方、学習者がよく記憶していた語は「その語が初出ではなかったということ、授業後の作文の宿題で使用する機会を得たということが大きかったと思われる。」「単に何度も言わせるというのではなく、学習者が自ら必要とする場面で使う機会を創造することが、語の記憶を深めることにつながるのではないと思われる。」と述べている。

中国で学ぶ学習者を対象とした語彙習得についての研究に岡本（1996）がある。岡本（1996）では、学習者に定着しにくい外来語について、学習者がそのカタカナ語をどのように認識し、記憶しているのか、その習得過程をたどっており、

学習者は外来語すべての語彙において定着が遅いというわけではない。『パーティー』など、中国人学習者が苦手とする半濁音や長音を含む単語であっても、教室活動で比較的例示される頻度が高いものは定着度が高い。語彙を繰り返し使用することは、英語コードの記憶ストラテジーから日本語のコード記憶に切り替えることを促し、日本語化された外来語が習得しやすい状況をつくる。

と述べている。

小宮（1997）は、学習者にとって外来語というものが困難化要因の一つとして意識されることが多いことについて、

外来語をわかりにくく感じる程度や、わかりにくい外来語の種類と範囲、あるいはその原因等に目を向けて見ると、学習者の出身国によってかなりの差異があるように思われる。また、その程度や範囲は、学習者の日本語に対する習熟度や、滞日期間の長さ等によって変化していくことが考えられる。

としている。

3. 外来語の習得に関する調査と分析

3.1. 外来語の習得に関する調査

調査は、日本語学習者が認知し、使用している外来語を知るとともに、それらの語の習得に関係している要因を知ることが目的として行った。

実施は、2008年6月から12月にかけて、英語圏の国（オーストラリア、アメリカ、カナダ）、中国、台湾、韓国と、国内の大学で日本語を学んでいる学習者を対象に行った。また、学習者の日本語のレベルは初級終了レベル以上とした。

調査の方法としては、アンケート用紙（資料1）を配布し、学習者に記入してもらう方法をとった。

今回アンケート用紙を作成するにあたり、まず、初級の日本語教科書17冊中、多くの教科書で扱われていた外来語の上位60語を選んだ。次に『品詞別・レベル別 1万語語彙分類集』（1991）より40語を選んだ。そして、『広辞苑』第六版（2008）に新しく載せられた語から20語を抜き出した。

調査では、それぞれの語彙について「1. 知らない・使わない 2. 知っている・使わない 3. 知っている・ときどき使う 4. 知っている・よく使う」のどれかを選んでもらうようにした。

フェイスシートには、調査対象者の性別や年齢などのほかに外来語の習得に影響を与える可能性があると思われることについて問う項目を設けた。そして、海外の調査対象者用に英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語に訳したものを用意した。

配布したアンケート用紙のうち、回収できたアンケート用紙は1862名分で、有効回答

者数は 1846 名であった。その内訳は次のとおりである。

表 1 調査地域と学習者数

| | 英語圏 | 中国 | 台湾 | 韓国 | 国内 | 全体 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 学習者数 | 149 | 690 | 421 | 215 | 371 | 1846 |

3. 2. 外来語の習得に関する分析

3. 2. 1. 平均値と認知度の表の分析

「平均値が上位の語と認知度が上位の語」「平均値が下位の語と認知度が下位の語」の分析では、まず、それぞれの平均値の上位と下位の語を 20 位まで取り出した。次に、「1. 知らない・使わない」の割合(%)により認知度の高さを順位づけし、上位と下位 20 位までの語を取り出した。

①レベル

語の出典により、ここでは便宜上次のように呼ぶことにした。

- ・初級教科書の語 → レベル 1
- ・『品詞別・レベル別 1 万語語彙分類集』(1991) の語 → レベル 2
- ・『広辞苑』第六版(2008) の語 → レベル 3

②頻度数

学習者は接する機会が多い語ほど習得しやすいのではないかと考えられる。そこで、今回の調査語彙が実際に日本人の間でどのくらい使われている語であるかということを示す基準として、中山、桐生他(2007)「新聞に見る基幹外来語」を参照した。

③カテゴリー

語の意味カテゴリーとして、国立国語研究所編『分類語彙表』(2004)を参考に、アンケート調査した 120 語を分類した。

その結果、今回は【道具・用具】【食べ物】【住居・建築】【スポーツ・音楽】【町】【ファッション】【人間活動】【電気製品】【単位】【人間関係】【情報】【抽象概念】【人物】の 13 項目に分けられた。

④語源・語形

それぞれの語の語源については三省堂編『コンサイスカタカナ語辞典』第 3 版(2008)、『広辞苑』第六版(2008)などを参考にした。

語形については、省略形であるか、混種語であるかなどについて記した。

⑤拍数

それぞれの語の拍数を数え、平均値が上位・下位の語、認知度が上位・下位の語それぞれの平均の拍数を見ていった。

⑥認知度・使用頻度

今回のアンケート調査の結果から、{1} ～ {4} (1. 知らない・使わない、2. 知っている・使わない、3. 知っている・ときどき使う、4. 知っている・よく使う) の {2} ～ {4} の割合が高ければ認知度が高いと言える。全体の平均値 {2} ～ {4} の割合について、

- ・全体の平均値が高く、{2} ～ {4} の割合が高いものは「認知度が高く、使用頻度も高い」
- ・全体の平均値が高く、{2} ～ {4} の割合が低いものは「認知度は低い、認知している学習者の間での使用頻度は高い」
- ・全体の平均値が低く、{2} ～ {4} の割合が高いものは「認知度は高いが、使用頻度は低い」
- ・全体の平均値が低く、{2} ～ {4} の割合が低いものは「認知度が低く、認知している学習者の間での使用頻度も低い」

といった見方も数字を見る際の解釈の一つとしてみた。

⑦相関

アンケート用紙のフェイスシートの項目と調査した語彙の {1} ～ {4} の数値との関係を見るため、SPSS を使ってピアソンの積率相関係数を算出した。

これにより、算出されたピアソン (Pearson) の相関係数は以下のように判断した。

- .00 ～ ± .20 ほとんど相関がない (.00 は無相関)
 - ± .20 ～ ± .40 低い (弱い) 相関がある
 - ± .40 ～ ± .70 かなり (比較的強い) 相関がある
 - ± .70 ～ ± 1.00 高い (強い) 相関がある
- (+ 1.00 は完全な正の相関、- 1.00 は完全な負の相関)

(小塩 (2004))

この相関係数と共に、無相関検定 (相関の有意性検定) の結果が示されているが、今回は有意確率 5% 未満の水準で有意と示された相関係数の中から、「低い (弱い) 相関がある」とされる $p = \pm .20$ 以上のものに着目した。

4. 各地域の学習者の傾向

4.1. 英語圏の学習者の傾向

英語圏の学習者は、外来語をまず英語になおしてから習得しているようである。そのため、英語との語形の差が大きいものは英語になおされにくく、インプットされにくいと思われる。それぞれの上位と下位の語を見ると、省略された語形のものであっても、単に後半部分を省略されたものであれば、上位にも入っている。しかし、省略された形で他の語と結びつき複合語となったものは上位には入っておらず、下位に多く見られる。また、結びつく語が漢字で表記された語の場合も習得しにくいようであり、平均値・認知度ともに下位の語には「着メロ」「レジ袋」「デジタル放送」といった混種語が入っている。

平均値が下位の語に入っている他の語を見ると、フランス語やイタリア語、ドイツ語など、英語以外が語源であるものや和製外来語が多い。平均値の下位順で見ると、20語中13語までは全てそのような語である。

また、「認知度が下位の語」を見ると、120位から111位の語においては60%以上の学習者が「1. 知らない・使わない」と答えており、そのすべてが和製外来語や英語以外からの借用語である。

カテゴリーを見ると、上位の語は身近にあるものを示す語彙が多い。それに対し、下位の語は【人間活動】や【情報】といったカテゴリーのものが半数を占め、具象物が少なく、視覚的に示されにくいものが多い。

さらに、上位の語は日本人が日常生活で実際によく使ったりする語が多いと思われる。このことは「高頻度語リスト」との関係からも推測できる。

そして、来日経験や日本人の友達との相関関係が見られることから、実際に日本人と接する中で聞いたり話したりすることが多いと思われる。

下位の語は、相関関係から、本や雑誌からのインプットによるものが多いと考えられる。また、「着メロ」「レジ袋」といった語は《本や雑誌》《テレビ》との相関が見られることから、漢字が含まれる語は視覚的な刺激の効果があると思われる。

以下は平均値、認知度が上位の語と下位の語である。(上位の語は順位が高い順、下位の語は順位が低い順。)

1) 英語圏平均値が上位の語

レストラン、テレビ、デパート、アルバイト、コンピューター／コンピュータ、クラス、ホテル、パーティー、コーヒー、スポーツ、シャワー、ケーキ、プレゼント、カメラ、チョコレート、テニス、アパート、ニュース、ペン、ビール

2) 英語圏認知度が上位の語

テレビ、カメラ、ジュース、アイスクリーム、クリスマス、コンピューター／コンピュータ、クラス、チョコレート、ケーキ、アパート、レストラン、ホテル、テニス、シャワー、ペン、ラジオ、レポート、テープ、ビール、ネクタイ

3) 英語圏平均値が下位の語

ワンセグ、マイブーム、カルパッチョ、ミクロ、ノイローゼ、着メロ、レジ袋、ビラ、エチケット、ファスナー、パワーハラスメント、ウイルス、スキミング、フリーペーパー、ポータビリティ、カミングアウト、デジタル放送、ピッキング、トートバッグ、ボリュウム

4) 英語圏認知度が下位の語

ワンセグ、マイブーム、ミクロ、着メロ、カルパッチョ、ノイローゼ、レジ袋、ビラ、ウイルス、エチケット、ファスナー、スキミング、パワーハラスメント、デジタル放送、フリーペーパー、ポータビリティ、ピッキング、カミングアウト、リズム、トートバッグ

4.2. 中国の学習者の傾向

上位の語はいずれも初級教科書の語であり、平均値が高い語は全体的に「4. 知っている・よく使う」の割合が高いが、認知度が高い語の中には「認知度は高いが、使用頻度はそれほど高くない語」も見られる。これらの語は、学習したことにより「認知はしているが、使用する機会が多くはない語」であると考えられ、「サッカー」「テニス」「ビール」などがそれにあたる。

また、上位には「チョコレート」（「巧克力」）、「コーヒー」（「咖啡」）といった音訳が使われている語が入っている。

下位では、平均値が下位の語と認知度が下位の語が順位は異なるが全て同じ語となった。このことから、これらの語は「認知度も低く、使用頻度も低い」語であると考えられる。

英語圏の下位の語には、漢字が含まれている混種語が3語（「レジ袋」「デジタル放送」「着メロ」）含まれていたが、中国の下位には1語（「着メロ」）しか含まれていない。これには、母語の違いが影響していると見られる。そして、この「着メロ」は、「着信+メロディー」という組み合わせで、「メロディー」だけでなく「着信」という漢字の語まで省略されているため、「着信メロディー」という形に還元されにくかったのではないと思われる。

相関関係を見ると、相関が見られる項目が少なく、学年やアルバイトなどとの相関がわずかに見られる程度である。このことから、中国で上位にあるような語彙は、環境によるインプットとはあまり関係なく学習により習得されているのではないかと考えられる。

1) 中国平均値が上位の語

コンピューター／コンピュータ、テレビ、ドア、ニュース、スポーツ、クラス、ボールペン、ペン、ノート、プレゼント、スーパー、パーティー、レストラン、デパート、パン、タクシー、アルバイト、シャワー、ホテル、チョコレート

2) 中国認知度が上位の語

ビール、コンピューター／コンピュータ、ラジオ、テレビ、ニュース、ケーキ、テープ、ドア、サッカー、カメラ、コーヒー、ボールペン、デパート、タクシー、テニス、パン、レストラン、ホテル、レポート、パーティー

3) 中国平均値が下位の語

ベーグル、カルパッチョ、ワンセグ、ポータビリティ、パワーハラスメント、リベンジ、カミングアウト、ビラ、着メロ、ファスナー、コットン、トートバッグ、マイブーム、スキミング、エチケット、ピッキング、ノイローゼ、バスケット、ミクロ、ボリウム

4) 中国認知度が下位の語

カルパッチョ、ベーグル、パワーハラスメント、ワンセグ、ポータビリティ、ビラ、リベンジ、カミングアウト、コットン、ファスナー、着メロ、トートバッグ、マイブーム、スキミング、エチケット、ノイローゼ、ピッキング、バスケット、ミクロ、ボリウム

4.3. 台湾の学習者の傾向

台湾の学習者には、全体的に《本や雑誌》との相関が多く見られ、同じ漢字圏でも中国とは異なっている。

カテゴリーを見ると、平均値・認知度ともに上位の語においては【食べ物】が最も多い。これは、学習者がその語に「出会う」（小宮 1997）頻度が高いからだとなれば、学習者が生活している環境による影響があると思われる。

そして、平均値が上位の語において、【食べ物】（「パン」「アイスクリーム」「ケーキ」「ビール」「ジュース」「コーヒー」「チョコレート」）は項目との相関が見られないことから、これらはどの項目とも関係なく習得しやすい語であると考えられる。また、「チョコレート」「コーヒー」は、音訳が使われている語であることから、母語の影響の可能性もある。

認知度が上位の語の平均値を見ると、「アイスクリーム」は30位、「テニス」は38位、「ラジオ」は35位であり、これらは「認知している人は多いが、比較的使用頻度が低い語」と考えられる。

下位の語である「マイブーム」「着メロ」「トートバッグ」「ボリウム」は本や雑誌と

の相関が見られることから、メディアなどからのインプットの可能性が考えられる。

また、下位の語には、上位には見られなかった学習期間との相関が見られ、本や雑誌との相関が見られる語の中では1語(「トートバッグ」)以外はどちらにも相関が見られる。よって、このような語彙は学習期間が長くなり、日本語の本や雑誌に触れる中でインプットされる傾向があるのではないと思われる。

1) 台湾平均値が上位の語

コンピューター／コンピュータ、テレビ、パン、ニュース、アルバイト、チョコレート、レストラン、レポート、クラス、コーヒー、ノート、ペン、カメラ、ケーキ、デパート、メモ、スーパー、ドア、プレゼント、ジュース

2) 台湾認知度が上位の語

テレビ、コンピューター／コンピュータ、カメラ、けしゴム、パン、レポート、アイスクリーム、ケーキ、ビール、ノート、ジュース、テニス、レストラン、コーヒー、ラジオ、スポーツ、ホテル、ピアノ、ニュース、チョコレート

3) 台湾平均値が下位の語

カルパッチョ、ポータビリティー、ワンセグ、パワーハラスメント、ファスナー、ノイローゼ、スキミング、コットン、カミングアウト、ミクロ、エチケット、トートバッグ、マイブーム、カルチャー、ピッキング、リベンジ、ボリウム、ビラ、着メロ、テクノロジー

4) 台湾認知度が下位の語

カルパッチョ、ポータビリティー、ワンセグ、ファスナー、パワーハラスメント、ノイローゼ、スキミング、コットン、ミクロ、カミングアウト、エチケット、トートバッグ、マイブーム、ボリウム、カルチャー、リベンジ、着メロ、ピッキング、ビラ、バスケット

4. 4. 韓国の学習者の傾向

上位の語は、テレビ、本や雑誌、音楽、ゲームといったものとの相関が非常に多く見られることから、日本からの情報量が多く、そこからの影響が大きいのではないかと考えられる。また、アルバイトで日本語を使う頻度や日本人の友人との相関も見られることから、実際に日本人と接する中で受けるインプットが習得に影響を与えている可能性がある。

よって、上位の語は直接日本人と接する中で習得したり、テレビや雑誌などのメディアや音楽、ゲームなどの趣味を通して習得している語が多いと考えられる。そして、上位の語のほとんどは韓国語でも外来語として使用されているものであり、韓国の学習者は身近

にある日本語の情報に触れる中で韓国語と似ている日本語の外来語を習得している可能性がある。また、中国や台湾では平均値の上位に入っていなかった「スキー」「ピアノ」が入っているが、これは、これらの語が同じように外来語として取り入れられていることや、その事物が身近に存在することが理由ではないと思われる。

下位の語は、和製外来語や混種語であったり、英語以外からの借用のことが多い。そして、韓国語では外来語が使われていなかったりするものが含まれていることなどから、韓国語の外来語になかったり、英語が語源ではないものは習得されにくいと思われる。また、韓国語の外来語に取り入れられていたとしても、発音が大きく異なるもの（「ウイルス (바이러스 /pa i reo seu)」 「ファスナー (패스너 /phae seu neo)」 など）や和製外来語（「マイブーム」）、混種語（「着メロ」）は習得されにくいようである。

1) 韓国平均値が上位の語

テレビ、カメラ、ニュース、ペン、レストラン、メモ、アルバイト、パン、ピアノ、ジュース、テニス、クリスマス、スポーツ、コンピューター／コンピュータ、レポート、ノート、ボールペン、コーヒー、エレベーター、アパート

2) 韓国認知度が上位の語

アルバイト、コーヒー、テレビ、カメラ、デパート、レストラン、アパート、パン、レポート、ボールペン、テニス、ピアノ、ニュース、アイスクリーム、ジュース、コンピューター／コンピュータ、スキー、エレベーター、クラス、クリスマス

3) 韓国平均値が下位の語

スキミング、カルパッチョ、パワーハラスメント、ワンセグ、ピッキング、レジ袋、ポータビリティ、着メロ、ミクロ、フリーペーパー、マイブーム、トートバッグ、ファスナー、ウイルス、ベーグル、ドクター、コットン、ビラ、マッチ、リベンジ

4) 韓国認知度が下位の語

スキミング、カルパッチョ、パワーハラスメント、ワンセグ、ピッキング、レジ袋、着メロ、ミクロ、ポータビリティ、フリーペーパー、マイブーム、トートバッグ、ウイルス、ファスナー、ドクター、ベーグル、コットン、ビラ、カルチャー、リベンジ

4. 5. 国内の学習者の傾向

4. 5. 1. 英語圏出身の学習者の傾向

上位の語は、英語圏で多く見られた《日本人の友人》との相関は見られず、《テレビ》《音

楽》《ゲーム》との相関が見られる。

下位の語は、英語圏では見られた《テレビ》《音楽》《本や雑誌》《コンピューター》などとの相関は見られず、最も多く見られるのが《学習開始期》や《アルバイト》《アルバイトでの日本語使用度》《過去のアルバイトでの日本語使用度》などとの相関である。

これらの相関関係から、国内においては、上位の語はテレビや音楽、ゲームなどを通して頻繁に見聞きするものが習得されやすく、下位の語は実際の生活の中で、アルバイトの時などに習得される傾向があると考えられる。

英語圏と国内の上位の語で共通して見られる特徴は、英語を語源とした語が多いことである。そして、英語を語源としていない語であっても、英語の語形との大きな違いが見られないものが多い。また、高頻度語が多いということも挙げられる。

国内の上位にのみ見られる語は、実際に日常生活でより必要とされるものを示す語が多いという傾向が見られる。「ドア」「パン」「スーパー」など、学習者が生活する上で身近に存在するものが多いと思われる。

それに対し、海外の上位にだけ見られる語は教科書の中にある語彙であり、日常生活での使用頻度がそれほど高くないであろう語も含まれている。

下位の語には、漢字を含んだ語と結びついている混種語が見られる。「着メロ」「レジ袋」「デジタル放送」という語は、国内でも英語圏でも平均値・認知度ともに下位の語として見られることから、環境にかかわらず習得されにくい語であると考えられる。そのほか、和製外来語や英語以外を語源とするものも見られる。

そして、国内の認知度が下位にのみある語として「マッチ」がある。これは、教科書の中にある語であるが、日本での生活を考えると、マッチという道具そのものを使う機会が少ないと思われる。

また、英語圏の下位には見られたが国内の下位には見られない語に「リズム」がある。これは「高頻度語リスト」にある語であり、国内の学習者においては日常生活の中でインプットされている可能性が考えられる語である。

1) 国内英語圏平均値が上位の語 (23 語)

コンピューター／コンピュータ、パン、スーパー、パーティー、ペン、ニュース、シャワー、エレベーター、レストラン、スポーツ、ビール、アパート、プレゼント、チョコレート、レポート、タクシー、シャツ、カメラ、アルバイト、テーブル、ホテル、パーセント

2) 国内英語圏認知度が上位の語 (24 語)

ドア、アパート、レポート、テニス、コンピューター／コンピュータ、パン、スーパー、パーティー、ペン、レストラン、スポーツ、ニュース、シャワー、エレベーター、ビール、

プレゼント、シャツ、チョコレート、タクシー、アルバイト、カメラ、テーブル、パーセント、ホテル

3) 国内英語圏平均値が下位の語

ノイローゼ、カルパッチョ、マイブーム、着メロ、スキミング、ピッキング、ビラ、ミクロ、パワーハラスメント、ワンセグ、フリーペーパー、メル友、ファスナー、カミングアウト、ポータビリティ、デジタル放送、インテリア、トートバッグ、カルチャー、レジ袋、ウイルス

4) 国内英語圏認知度が下位の語

ノイローゼ、着メロ、カルパッチョ、マイブーム、スキミング、ピッキング、ビラ、ワンセグ、フリーペーパー、ミクロ、パワーハラスメント、レジ袋、メル友、ウイルス、カミングアウト、デジタル放送、ファスナー、マッチ、ポータビリティ、エチケット、カルチャー

4.5.2. 中国出身の学習者の傾向

上位の語は、語源が英語である語が多く、「高頻度語リスト」の中でも上位にあるものが多い。そして、国内の上位にだけ見られる語は、「エレベーター」や「メモ」など日常生活で実際に使われていると思われる語が多い。使用頻度の高い語については、国内・中国ともに「高頻度語リスト」の中でも上位にある語が多いが、国内では日常生活においてより身近な語が海外の学習者よりも多くなっているようである。カテゴリーを見ても、【道具・用具】【食べ物】【電気製品】などを表すものが多い。

また、中国ではあまり見られなかった「アルバイト」との相関が国内では多く見られる。

認知度が上位の語では「カロリー」だけがレベル2の語である。この「カロリー」は中国では上位に入っていない語である。しかし、中国語で「卡路里」と音訳されている語であり、「高頻度語リスト」の中の語でもあることから、日本での生活の中で見たり聞いたりが習得に影響を与えていると考えられる。そして、認知度は100%であるが、平均値は45位であることから、「認知度は高いが、使用頻度がそれほど高くない語」であると言える。この例などから、実際に使用することは少ないとしても、周囲から見聞きする頻度が高いものは認知されやすいと考えられる。

下位の語については、中国と国内の語は同じであった。このことから、これらの語が環境の違いにかかわらず習得されにくい語であると言える。

しかし、それぞれの平均値をみると国内の方が高くなっていることから、習得しにくい語であることにはかわりはないが、日常生活におけるインプットが影響を与えている可能性

は考えられる。

1) 国内中国平均値が上位の語

ボールペン、コンピューター／コンピュータ、ペン、スーパー、アルバイト、ドア、テレビ、プレゼント、メモ、ジュース、ニュース、パン、シャワー、レポート、エレベーター、チョコレート、レストラン、カメラ、スポーツ、ノート

2) 国内中国認知度が上位の語 (29 語)

ボールペン、コンピューター／コンピュータ、アルバイト、テレビ、プレゼント、ジュース、ニュース、パン、シャワー、レポート、エレベーター、チョコレート、レストラン、スポーツ、ノート、デパート、ケーキ、ガラス、アイスクリーム、ビール、ナイフ、クリスマス、ホテル、サッカー、カロリー、テニス、ラジオ、ネクタイ、スキー

3) 国内中国平均値が下位の語

ポータビリティー、ベーグル、パワーハラスメント、リベンジ、カミングアウト、ワンセグ、ビラ、ファスナー、スキミング、ピッキング、ノイローゼ、カルパッチョ、マイブーム、トートバッグ、ビスケット、エチケツト、着メロ、コットン、ボリウム、マイクロ

4) 国内中国認知度が下位の語

ベーグル、ポータビリティー、パワーハラスメント、ワンセグ、リベンジ、カミングアウト、ファスナー、ビラ、スキミング、カルパッチョ、トートバッグ、ノイローゼ、マイブーム、ピッキング、ビスケット、コットン、着メロ、ボリウム、エチケツト、マイクロ

4.5.3. 台湾出身の学習者の傾向

上位の語においては、《性別》や《日本人の友達》との相関関係が見られる。《性別》については、女性が住居や買い物に関する語に高い数値を示す傾向が見られた。

カテゴリーを見ると、台湾では最も多く見られた【食べ物】の割合が少なくなり、【道具・用具】【住居・建築】【町】【電気製品】など、生活に関する語の割合が高くなっている。

上位の語で共通しているのは、「レポート」「ノート」「ペン」など、教科書にある語の中でも学校でよく使うと思われる語が入っていること、そして、語源が英語である語が多く、「高頻度語リスト」の中でも上位にある語が多いことである。これは台湾の上位の語と共通して見られる傾向である。

また、台湾の上位だけに見られる語は【食べ物】に関する語が多いのに対し、国内の上位だけに見られる語は「エレベーター」や「テーブル」など、日常生活で使用されと思

われる【道具・用具】や【住居】に関する語が多い。これは、生活する環境により生じた違いであると思われる。

下位の語は、国内・台湾ともに英語以外の語を語源とするものが多く、これは中国の学習者とも共通して見られる傾向である。

また、漢字が使われているにもかかわらず台湾の下位に見られた「着メロ」が国内の下位には入っていない。これには環境によるインプットの影響が考えられる。

1) 国内台湾平均値が上位の語

コンピューター／コンピュータ、テレビ、ノート、スーパー、けしゴム、メモ、ボールペン、シャワー、チョコレート、パン、ドア、ペン、カメラ、レストラン、スポーツ、ニュース、ナイフ、テーブル、レポート、エレベーター、デパート

2) 国内台湾認知度が上位の語

コンピューター／コンピュータ、テレビ、ノート、スーパー、メモ、ボールペン、シャワー、チョコレート、パン、ドア、カメラ、レストラン、スポーツ、ニュース、ナイフ、テーブル、レポート、エレベーター、デパート、プレゼント

3) 国内台湾平均値が下位の語

カルパッチョ、パワーハラスメント、ポータビリティ、スキミング、ノイローゼ、エチケット、トートバッグ、ファスナー、カミングアウト、ビラ、コットン、マイブーム、ピッキング、ワンセグ、リベンジ、ボリューム、ミクロ、バスケット、ベージュ、インテリア

4) 国内台湾認知度が下位の語

カルパッチョ、パワーハラスメント、ポータビリティ、ノイローゼ、スキミング、トートバッグ、エチケット、ビラ、ファスナー、コットン、カミングアウト、ミクロ、ワンセグ、ボリューム、マイブーム、ピッキング、バスケット、リベンジ、インテリア、カンニング

4.5.6. 韓国出身の学習者の傾向

韓国出身の学習者の外来語の習得には、母語の影響が強く現れているようである。

上位の語は、韓国語でも外来語として使用されていて日本語の外来語とも発音に大きな違いがないと思われる語がほとんどであった。また、今回の調査では認知度が上位の語は70語あり、いずれも「1. 知らない・使わない」が0.0%であった。そして、韓国語の中で同じように外来語として使用されている語であっても、語形や発音が大きく異なるものなどは下位の語となっている。

これらのことから、韓国出身の学習者が日本語の外来語を習得する際は、母語である韓国語の外来語になおしてから認知しているのではないと思われる。

相関関係を見てみると、上位、下位の語のどちらにおいても、《テレビ》《コンピューター》《ゲーム》との相関が見られ、そういった媒体などからのインプットの影響があるように思われる。

上位の語は、韓国語でも外来語として使用されていて日本語の外来語とも発音に大きな違いがないと思われる語がほとんどであり、これは韓国で見られた傾向と同じである。

そして、国内の上位にだけにある語は【食べ物】や【住居】に関するものが多く、日常的によく使われていると思われる語である。

下位の語は、韓国語で外来語として取り入れられていなかったり、取り入れられていたとしても日本語の外来語との発音の差が大きいものである。

また、「マッチ」「テープレコーダー」はレベル1の語であり、初級教科書にある語であるが、実際に日本での生活の中では使われることが少ないのではないと思われる語である。

1) 国内韓国平均値と認知度が上位の語（認知度が上位の語 70 語中、平均値が上位の語 20 位まで）

テレビ、コンピューター／コンピュータ、ペン、コーヒー、メモ、チョコレート、パン、ニュース、カメラ、レポート、カレー、ボールペン、シャワー、スーパー、ジュース、ノート、ケーキ、エレベーター、テーブル、レストラン

2) 国内韓国平均値が下位の語

パワーハラスメント、スキミング、ピッキング、カルパッチョ、ワンセグ、ポータビリティ、フリーペーパー、ファスナー、マイクロ、マイブーム、ビラ、リベンジ、トートバッグ、着メロ、コットン、テープレコーダー、ドクター、マッチ、カミングアウト、レジ袋

3) 国内韓国認知度が下位の語

ピッキング、スキミング、カルパッチョ、パワーハラスメント、ワンセグ、マイクロ、ポータビリティ、フリーペーパー、ビラ、マイブーム、トートバッグ、ファスナー、コットン、着メロ、ウイルス、リベンジ、レジ袋、ドクター、ベーグル、マッチ

5. 調査のまとめ

今回の調査・分析では平均値が上位の語・下位の語を中心に、その特徴を見ていった。

全体的には、上位の語はほとんどがレベル1の語であり、「高頻度語リスト」に含まれ

ている語であった。それに対し、下位の語は、ほとんどがレベル2とレベル3の語であり、「高頻度語リスト」にある語は非常に少なかった。

カテゴリーを見ると、上位の語は【道具・用具】【食べ物】など、身近で具体的なものが多かったのに対し、下位の語では【人間活動】【情報】などといった、具体的に形として表しにくく抽象的なものが多かった。

語源や語形については、全体的にみると、上位の語は英語を語源とするものが多く、下位の語はそれ以外を語源とするものが多かった。韓国の上位の語には母語でも外来語として使われているものが多かった。下位の語については、複合語も多く見られ、和製外来語や短縮された語が結びついたものが見られた。また、漢字で表記する語との混種語は、漢字圏の学習者には比較的認知されやすいようであるが、非漢字圏の学習者にとっては認知されにくいといった傾向が見られた。さらに、省略された語が他の語と結びつき、元の形に修復するのが困難な場合は、母語に関係なく下位の語となっていた。

語の拍数は、それぞれの上位の語の平均は3.6～3.97拍であったのに対し、下位の語の平均は4.7～5.2拍であった。よって、語の長さも習得に関係しているのではないかと考えられる。

そして、それぞれの地域ごとに見ていくと、次のような傾向が見られた。

英語圏の学習者は、外来語を習得する際、その語の語源・語形の影響が大きいようである。また、相関関係から、レベル1の語彙に関しては日本人の友人との会話などを通して習得している可能性も考えられる。

中国においては、環境からのインプットの影響は多くは見られず、学習による習得が中心なのではないかと思われる。インプットは英語音になおしてなされる傾向が見られ、混種語においては、その形態素からの意味推測の可能性が考えられる。

台湾は中国にくらべると雑誌やテレビといった情報からの影響が強いようである。また、食べ物に関する語彙など、生活の身近にあるものを表す外来語が習得されやすい傾向が見られる。

韓国においては、英語圏と同じように母語である韓国語で外来語として使用されている語との発音・語形の差の影響が見られた。そして、身近にある日本語の情報からのインプットの影響も見られた。

国内においては、海外と共通する傾向も見られたが、全体的に共通しているのは、生活の中でより身近な語彙が上位に見られるということである。実際に日本で生活していく中で接する機会が多いものが習得されやすいと思われる。

以上のように、外来語の習得にはそれぞれの語彙がもつ要素のほかにも、学習者の母語や生活している環境が影響を与えている可能性が考えられる。

そして、それぞれの学習地域の上位の語、下位の語に共通して言えることは、学習者が

それらの語と接触する機会が多いかどうかということが語の習得に大きく影響しているということであり、語が表しているもの自体を身近なものとして出会っているのであれば、習得の可能性は増すのではないかと考えられる。

参考文献

- 石綿敏雄 (2001) 『外来語の総合的研究』 東京堂出版。
- 石綿敏雄編 (1990) 『基本外来語辞典』 東京堂出版。
- 岡本佐智子 (1996) 「外来語の習得ストラテジー —中国で学ぶ中国人研究者に見る外来語の中間言語—」 東京外国語大学留学生日本語教育センター論集 1997 東京外国語大学 pp.97-109.
- 小塩真司 (2004) 『SPSS と Amos による心理・調査データ解析 —因子分析・共分散構造分析まで』 東京図書。
- 国立国語研究所 (1990) 『外来語の形成とその教育』 大蔵省印刷局。
- (2002) 『定着度による外来語分類の試み』 国立国語研究所。
- 国立国語研究所編 (2004) 『分類語彙表』 増補改訂版 大日本図書刊。
- 小宮修太郎 (1997) 「学習者の出身国別に見た外来語の理解度に関する比較考察」 『筑波大学留学生センター日本語教育論集』 12 号 筑波大学留学生センター pp.43-62.
- 三省堂編 (2008) 『コンサイスカタカナ語辞典』 第 3 版 三省堂。
- スティーブン D. クラッシュェン、トレイシー D. テレル著、藤森和子訳 (1986) 『ナチュラル・アプローチのすすめ』 大修館書店。
- 専門教育出版編 (1991) 『品詞別・レベル別 1 万語語彙分類集』 専門教育出版。
- Diane Larsen-Freeman、Michael H.Long 著、牧野高吉他訳 (1995) 『第二言語習得への招待』 鷹書房弓プレス。
- 谷内美智子 (2002) 「第二言語としての語彙習得研究の概観 —学習形態・方略の観点から—」 『言語文化と日本語教育』 2002 年 5 月特集号 日本言語文化学会研究会 pp.155-169.
- 中山恵利子、桐生りか他 (2007) 「新聞に見る基幹外来語」 『国立国語研究所報告 126 公共媒体の外来語 —「外来語」言い換え提案を支える調査研究』 国立国語研究所。
- 新村出編 (2008) 『広辞苑』 第六版 岩波書店。
- 日本語教育学会編 (2005) 『新版日本語教育事典』 大修館書店。
- Heidi Dulay、Marina Burt 他著、牧野高吉訳 (1984) 『第 2 言語の習得』 弓書房。
- プレム・モトワニ (1991 a) 『日常外来語用法辞典』 丸善株式会社。
- (1991 b) 「日本語教育のネック —外来語—」 『日本語教育』 74 号 日本語教育学会 pp.13-20.
- 松見法男・邱學瑾他 (2006) 「語彙の習得」 『講座・日本語教育学』 第 3 巻 スリーエーネット

トワーク。

松本順子、堀場裕紀江（2007）「日本語学習者の語彙知識の広さと深さ—中国語母語話者と日本語母語話者の比較—」『第二言語としての日本語の習得研究』第10号 第二言語習得研究会 pp.10-27.

三好裕子（2005）「初中級クラスの一時刻に見る語彙学習の問題」『早稲田大学日本語教育実践研究』第2号 pp.67-76.

山内博之編、金井久美子、田尻由美子他著（2008）『日本語教育スタンダード試案 語彙』ひつじ書房。

<http://cgi.geocities.jp/abelinternational/cgi/dicjko.cgi> GigaDict 日韓辞典より 2008.12.25 取得

資料1 アンケート用紙
(国内)

I. 次の質問に答えてください。

| | | |
|------|---|------------------------------------|
| (1) | 年齢 | () 歳 |
| (2) | 性別 | 男 ・ 女 |
| (3) | 国籍 | |
| (4) | 住んでいる所 | () 都道府県 () 市 |
| (5) | 大学・学年 | () 大学 () 年生 |
| (6) | 専攻 | |
| (7) | いつから日本語を習っていますか。 | () 前 |
| (8) | いつ日本へ来ましたか。 | () 前 |
| (9) | 興味があるもの・趣味は何ですか。 | |
| (10) | 今アルバイトをしていますか。 | はい ・ いいえ |
| (11) | (10) で「はい」と答えた人 アルバイトのとき、日本語を使いますか。 1. 使わない 2. たまに使う 3. ときどき使う 4. よく使う | |
| (12) | 以前、アルバイトをしていましたか。 | はい ・ いいえ |
| (13) | (12) で「はい」と答えた人 アルバイトのとき、日本語を使いましたか。 1. 使わなかった 2. たまに使った 3. ときどき使った 4. よく使った | |
| (14) | 今、日本人と一緒に住んでいますか。 | はい ・ いいえ |
| (15) | 以前日本人と一緒に住んでいましたか。 | はい ・ いいえ |
| (16) | 日本人の友達がいいますか。 | はい ・ いいえ |
| (17) | 母語は何ですか。 | |
| (18) | (17) の答えが「英語」以外の人 英語がわかりますか。 1. わからない 2. あまりわからない 3. 少しわかる 4. よくわかる | |
| (19) | 母語・日本語・英語以外にわかる言葉がありますか。 | はい ・ いいえ |
| (20) | (19) で「はい」と答えた人 それは何語ですか。 | |
| (21) | 日本語のテレビ番組を見ますか。 | 1. 見ない 2. たまに見る 3. ときどき見る 4. よく見る |
| (22) | (21) で「はい」と答えた人 それはどんな番組ですか。(いくつでもいいです。) 1. ドラマ 2. アニメ 3. ニュース 4. パラエディー 5. スポーツ 6. ワイドショー 7. その他() | |
| (23) | 日本語の音楽を聞きますか。 | 1. 聞かない 2. たまに聞く 3. ときどき聞く 4. よく聞く |
| (24) | 日本語の本や雑誌を読みますか。 | 1. 読まない 2. たまに読む 3. ときどき読む 4. よく読む |
| (25) | 日本語のゲームをしますか。 | 1. しない 2. たまにする 3. ときどきする 4. よくする |
| (26) | コンピューターを使いますか。 | 1. 使わない 2. たまに使う 3. ときどき使う 4. よく使う |
| (27) | 休みの時は何をしますか。(いくつでもいいです。) 1. 買い物 2. インターネット 3. 本や雑誌などを読む 4. ゲームをする 5. 遊びに行く(観光など) 6. その他() | |

II. 次の1～4の番号に○をつけてください。

| | | | | | |
|----|---------------------|---------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 例) | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う | |
| 1 | アイスクリーム | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 2 | カレー | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 3 | ケーキ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 4 | コーヒー | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 5 | サンドイッチ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 6 | ジュース | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 7 | チョコレート | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 8 | パン | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 9 | ビール | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 10 | カルパッチョ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 11 | ベーグル | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 12 | スイーツ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 13 | カメラ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 14 | コンピューター / コンピュータ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 15 | スตูブ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 16 | テープレコーダー | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 17 | テレビ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 18 | ラジオ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 19 | クラス | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 20 | レポート | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 21 | テープ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 22 | けしゴム | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 23 | ナイフ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 24 | ノート | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 25 | ペン | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 26 | ボールペン | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 27 | メモ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 28 | ニュース | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 29 | マッチ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 30 | クリスマス | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 31 | アルバイト | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 32 | シャワー | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 33 | コップ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 34 | フォーク | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 35 | タキシ | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 36 | スキミング | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 37 | ピッキング | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 38 | フリーペーパー | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 39 | マイブーム | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |
| 40 | レンジ袋 | 1. 知らない・使わない | 2. 知っている・使わない | 3. 知っている・ときどき使う | 4. 知っている・よく使う |

[illegible][illegible]

